



# RALLY 三河湾 2024

Supported by AICELLO



開催日  
2024年3月1日～3日  
主催  
モンテカルロオートスポーツクラブ  
(JAF加盟クラブ 23011)

発行日：2024/02/22  
主 題：コミュニケーション2  
発行 者：大会組織委員会  
宛 先：全参加者

時 刻：12:00  
文 書 番 号：4.02  
ペ ー ジ 数：1/2  
添 付 書 類：なし

## 【公式車両検査の実施時刻】

| グループ | 時間            | 対象クラス        |
|------|---------------|--------------|
| 1    | 09:00 ~ 09:40 | JN-2         |
| 2    | 09:40 ~ 10:30 | JN-1         |
| 3    | 10:30 ~ 11:00 | JN-3         |
| 4    | 11:00 ~ 12:00 | JN-5         |
| 5    | 12:50 ~ 13:30 | JN-4、JN-6    |
| 6    | 13:30 ~ 14:00 | オープン         |
| 7    | 14:00 ~ 14:30 | チャレンジ、ヒストリック |

※サービス員が到着していないクルーは、レッキ前に競技車両をパルクフェルメに移動し、キーをパルクフェルメ管理のオフィシャルに預けること。

サービスクルーが到着したら、キーを受け取り車検場へ移動し、車検を受けること。

※指定時間に間に合わない場合はCROへ連絡すること

## 【公式車両検査要領】

- 選手権におけるターボ付き車両のリストリクター内径確認、新規封印作業、既設封印タグの確認は、公式車検場にて最初に行う。(スペアがある場合は持参のこと)  
※リストリクターの確認に必要な工具(タイヤを外す際のジャッキなど)は持参のこと  
※排ガス測定前に暖気が必要な車両は、リストリクター確認後に暖気を行うこと
- 公式車検場へ入場するサービス員は必ずクレデンシャルを持参し提示すること。  
※入場可能なサービス員は各チーム2名までとし、競技車両で移動すること  
※例外的にジャッキなど必要工具運搬用のサービスカー1台の入場を認める
- 受検時には競技出走用タイヤ、または同サイズの物を装着し、必要書類(公認書、カタログ等)を持参すること。必要書類は技術オフィシャルの求めがあった場合は遅滞なく掲示すること。
- 車検における検査項目、及び注意点
  - 検査項目について  
クルー装備品、灯火類、最低地上高、車両装備品、安全装備、排気音、排気ガス、車両重量  
※選手権併設クラスについては排気ガス&車両重量の項目を実施しない  
※JN-1車両の給油用漏瑚(ジョウゴ)を車検場へ持参すること  
※下記、2024年度からの変更点は重点的に確認する  
・6点式FIA公認安全ベルト(選手権のみ)、飛散防止フィルム、カメラの取り付け位置、アンダーウェア等のFIA競技規則L項のクルー装備品(JN-1のみ)
  - 車両重量測定について  
・ランプポット使用予定車両の重量測定は外した状態で行う  
※ランプ装着状態で自動車検査登録済みの場合は、装着状態で測定する  
・FIA、RRN、JP4車両:スペアタイヤ1本搭載、それ以外:スペアタイヤなし  
・オフィシャルに燃料の残量を正確に申告すること  
・クルー&装備品を含めた重量が、最低重量+160kg以上との規定されている為、装備品を搭載した状態で計測する。但し、クルー不在の場合は、クルー合計の重量を申告すること。  
(申告重量に疑義がある場合、再測定する場合がある)



# RALLY 三河湾 2024

Supported by AICELLO



開催日  
2024年3月1日~3日  
主催  
モンテカルロオートスポーツクラブ  
(JAF加盟クラブ 23011)

発行日：2024/02/22  
主 題：コミュニケーション2  
発行 者：大会組織委員会  
宛 先：全参加者

時 刻：12:00  
文 書 番 号：4.02  
ペ ー ジ 数：2/2  
添 付 書 類：なし

## 【公式車両検査場】

<豊田自動織機海陽ヨットハーバー>

※JN-1 車両は、臨時運行許可証をサービス受付にて受け取り、車両に装着した状態で移動すること



## 【再車両検査について】

1. セレモニアルフィニッシュからパークフェルメまでの経路の途中にて、対象車両は技術員の誘導に従い再車両検査場へ移動すること
2. 「クルー & 装備品を含めた重量が、最低重量+160kg以上であること」を確認するため再車検では、必ずドライバー、コ・ドライバー両名が搭乗して重量計測を行う
3. 再車検にサービス員の補佐が必要な場合は、サービス員はあらかじめ再車両検査場(HQの建物西横)にて待機していること

## 【給油(リフューエル)について】

安全タンク装着車は、給油用漏斗(ジョウゴ)を車内に搭載せず、サービス員がリフューエルゾーンまで運搬すること

## 【タイヤマーキングについて】

未使用のスペアタイヤは使用本数としてカウントしない  
※タイヤチェックにてトレッド面のマーキングが確認できない物は使用本数としてカウントする